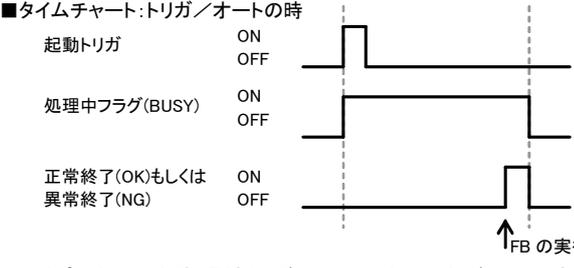
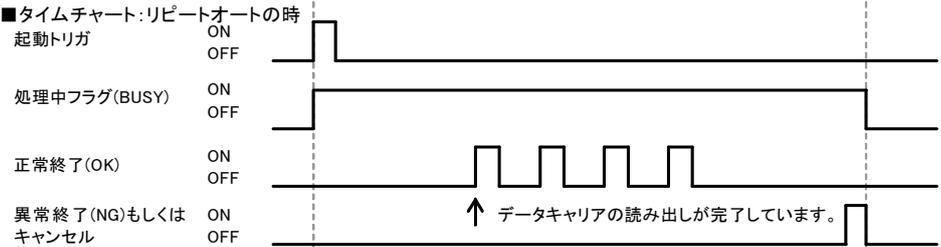
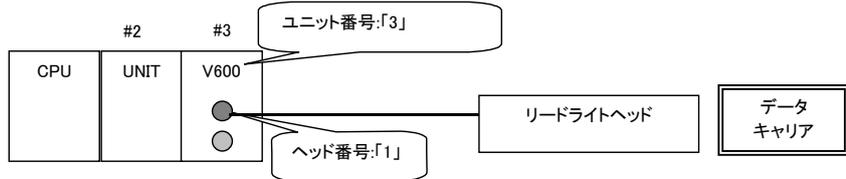
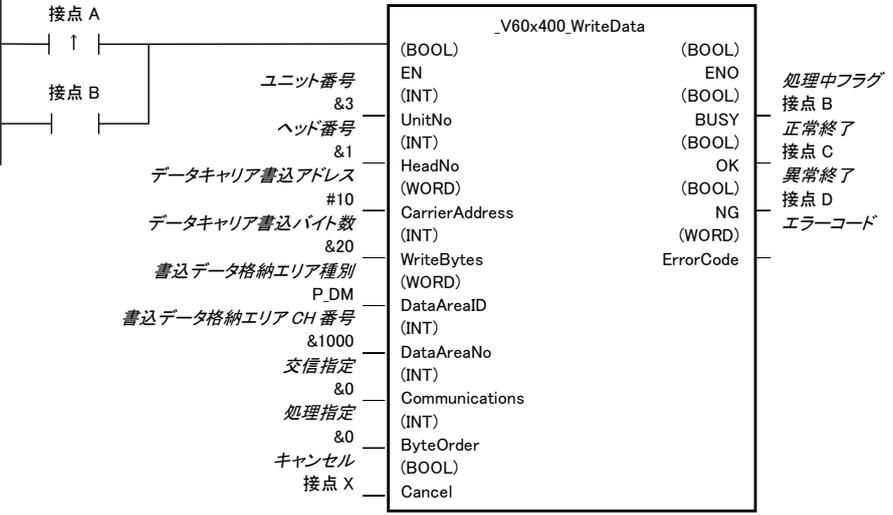


V60x400 データキャリアのデータ書込み _V60x400_WriteData

機能概要	データキャリアヘータを書き込みます。																																					
シンボル		<table border="1"> <thead> <tr> <th>シンボル</th> <th>データ型</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>_V60x400_WriteData</td> <td>(BOOL)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>EN</td> <td>(BOOL)</td> <td>ENO</td> </tr> <tr> <td>UnitNo</td> <td>(INT)</td> <td>BUSY</td> </tr> <tr> <td>HeadNo</td> <td>(INT)</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td>CarrierAddress</td> <td>(WORD)</td> <td>NG</td> </tr> <tr> <td>WriteBytes</td> <td>(WORD)</td> <td>ErrorCode</td> </tr> <tr> <td>DataAreaID</td> <td>(INT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DataAreaNo</td> <td>(INT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Communications</td> <td>(INT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ByteOrder</td> <td>(INT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Cancel</td> <td>(BOOL)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	シンボル	データ型	説明	_V60x400_WriteData	(BOOL)		EN	(BOOL)	ENO	UnitNo	(INT)	BUSY	HeadNo	(INT)	OK	CarrierAddress	(WORD)	NG	WriteBytes	(WORD)	ErrorCode	DataAreaID	(INT)		DataAreaNo	(INT)		Communications	(INT)		ByteOrder	(INT)		Cancel	(BOOL)	
シンボル	データ型	説明																																				
_V60x400_WriteData	(BOOL)																																					
EN	(BOOL)	ENO																																				
UnitNo	(INT)	BUSY																																				
HeadNo	(INT)	OK																																				
CarrierAddress	(WORD)	NG																																				
WriteBytes	(WORD)	ErrorCode																																				
DataAreaID	(INT)																																					
DataAreaNo	(INT)																																					
Communications	(INT)																																					
ByteOrder	(INT)																																					
Cancel	(BOOL)																																					
ファイル名	Lib\FBL¥omronlib¥RFID¥V600¥_V60x400_WriteData10.cxf																																					
対象形式	ID センサユニット CPU ユニット CX-Programmer	形CS1W-V600C11/V600C12, CJ1W-V600C11/V600C12 CS1*-CPU**H ユニットバージョン 3.0 以上 CJ1*-CPU**H ユニットバージョン 3.0 以上 CJ1M-CPU** ユニットバージョン 3.0 以上 CP1H バージョン 5.0 以上																																				
使用言語	ラダー言語																																					
使用条件	<p>■CX-Programmer の設定</p> <p>ID センサユニット関連 FB は、ファンクションブロックのアドレス割付にて保持以外のエリアが H512 以降(初期値設定)では動作しません。必ず CX-Programmer にて本値を、使用していないエリア(例えば DM や EM)に変更してください。本値はメニューバーから[PC]-[ファンクションブロックメモリ]-[ファンクションブロックアドレス割付]から変更ができます。</p> <p>■ID センサユニットの状態</p> <p>ID センサユニットがビジー中の場合は NG フラグを ON し、本 FB の機能を実行しません。</p>																																					
機能説明	<p>「ユニット番号」・「ヘッド番号」で指定したデータキャリアに対して指定エリアにデータを書き込みます。</p> <p>1回の実行で書込み可能なデータ量は最大2048 バイト=1024CH 分です。</p> <p>データ格納エリアの指定は、「エリア種別」と「開始CH番号」で指定します。例えば、D1000の場合、エリア種別に「P_DM」を、開始CH番号には「&1000」を指定します。</p> <p>IDセンサユニットの注意点として以下があります。詳細は「関連マニュアル」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライト時ペリファイなし設定の場合には、ペリファイ処理を行いません。 																																					
FB 定義の種類	<p>複数サイクル実行型</p> <p>本 FB は起動後、複数サイクルにまたがって処理を行います。</p> <p>内部で状態を保持するため、同じインスタンスを複数箇所でも同時に使用することはできません。</p>																																					

<p>FB 使用上の注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本 FB は数サイクルにまたがって処理を行います。出力変数 BUSY によって、処理が実行中か否かを確認できます。 処理を終えると、OK または NG が 1 サイクルだけ ON します。これらのフラグを参照して、FB の処理完了を検知してください。 <p>■タイムチャート:トリガノアウトの時</p>  <p>↑FB の実行が完了しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> リピートオート実行時はデータキャリアからデータを読み出すたびに OK を 1 スキャン ON し、キャンセル、または異常終了まで本FBを終了しません。 <p>■タイムチャート:リピートオートの時</p>  <p>↑ データキャリアの読み出しが完了しています。</p>
<p>EN の入力条件</p>	<p>上図のように「起動トリガ」の立ち上がりと FB の出力である BUSY の論理和を EN に接続させます。</p>
<p>制限事項 入力変数</p>	<ul style="list-style-type: none"> EN への入力には必ず立ち上がり微分(↑)を使用してください。 入力変数の値が範囲外の場合、ENO を OFF し、FB の内容は実行しません。 1 ヘッドタイプ(CS1W-V600C11, CJ1W-V600C11)はヘッド番号を必ず&1 としてください。 データキャリア書込アドレスおよびデータキャリア書込バイト数はデータキャリアのメモリ容量を確認して指定してください。アドレスおよびバイト数が通信するデータキャリアのメモリ容量と合わない場合には、アドレスエラーを出力します。 データキャリア書込バイト数が&0 で実行すると、ユニットの状態に関わらずエラーコードをゼロクリアし、正常終了します。
<p>出力変数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本処理は、複数サイクルに渡って実行する必要があるため、処理完了まで実行されるように、出力変数 BUSY を、入力変数 EN への入力条件の OR 回路に、必ず挿入してください(「シンボル」の項参照)。 出力変数 BUSY を FB 外で ON/OFF しないでください。
<p>使用例</p>	<p>接点 A を ON すると、D1000 に格納したデータをユニット番号 3 の ID センサユニットのヘッド 1 に繋がったデータキャリアへ書き込みます。</p>  
<p>関連マニュアル</p>	<p>「ID センサユニット ユーザーズマニュアル」(SCLB-707) 4-3.入出力データの割付「異常コード一覧」 6-2.通信コマンド「(2)データライト」</p>

■変数テーブル

【INPUT】(入力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	初期値	有効範囲	説明																														
EN	EN	BOOL		-	1(ON): FB を起動する 0(OFF): FB を起動しない																														
ユニット番号	UnitNo	INT	&0	&0~&95																															
ヘッド番号	HeadNo	INT	&1	&1~&2	&1: ヘッド 1 &2: ヘッド 2(2 ヘッドタイプのみ)																														
データキャリア 書込アドレス	CarrierAddress	WORD	#0	-	データキャリアのアドレスを 16 進数で指定します。																														
データキャリア 処理バイト数	WriteBytes	INT	&0	&0~&2048	&0 のとき何もせずに正常終了します。 データキャリアの容量を考慮して決定してください。																														
書込データ格納 エリア種別	DataAreaID	WORD	#00B0	右記	「P_CIO」(#00B0): 入出力リレー 「P_WR」(#00B1): WR 「P_HR」(#00B2): HR 「P_DM」(#0082): DM 「P_EM0」(#0050)~「P_EM」(#005C): EM バンク 0~C																														
書込データ格納 CH 番号	DataAreaNo	INT	&0	-																															
交信指定	Communications	INT	&0	&0~&2	&0: トリガ &1: オート &2: リピートオート																														
処理指定	ByteOrder	INT	&0	&0~&1	書込データの格納順序 &0: 上位→下位 &1: 下位→上位 0:上位→下位 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>アドレス</td> <td>CPU ユニットのメモリ</td> <td>データキャリアのメモリ</td> </tr> <tr> <td>n</td> <td>01 02</td> <td>01</td> </tr> <tr> <td>n+1</td> <td>03 04</td> <td>02</td> </tr> <tr> <td>n+2</td> <td></td> <td>03</td> </tr> <tr> <td>n+3</td> <td></td> <td>04</td> </tr> </table> 1:下位→上位 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>アドレス</td> <td>CPU ユニットのメモリ</td> <td>データキャリアのメモリ</td> </tr> <tr> <td>n</td> <td>02 01</td> <td>01</td> </tr> <tr> <td>n+1</td> <td>04 03</td> <td>02</td> </tr> <tr> <td>n+2</td> <td></td> <td>03</td> </tr> <tr> <td>n+3</td> <td></td> <td>04</td> </tr> </table>	アドレス	CPU ユニットのメモリ	データキャリアのメモリ	n	01 02	01	n+1	03 04	02	n+2		03	n+3		04	アドレス	CPU ユニットのメモリ	データキャリアのメモリ	n	02 01	01	n+1	04 03	02	n+2		03	n+3		04
アドレス	CPU ユニットのメモリ	データキャリアのメモリ																																	
n	01 02	01																																	
n+1	03 04	02																																	
n+2		03																																	
n+3		04																																	
アドレス	CPU ユニットのメモリ	データキャリアのメモリ																																	
n	02 01	01																																	
n+1	04 03	02																																	
n+2		03																																	
n+3		04																																	
キャンセル	Cancel	BOOL	0(OFF)		0→1: 実行を打ち切ります。																														

【OUTPUT】(出力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	有効範囲	説明
ENO (省略可)	ENO	BOOL		1(ON): FB が正常に動作した 0(OFF): FB は起動していない/FB が異常終了した
処理中フラグ	BUSY	BOOL		処理完了後、自動的に OFF します
正常終了	OK	BOOL		正常終了時 1 サイクルだけ ON します
異常終了	NG	BOOL		異常終了時 1 サイクルだけ ON します
エラーコード (省略可)	ErrorCode	WORD		ID センサの結果情報を出力します。 詳細は「関連マニュアル」に記載されたマニュアルを参照してください。 #0070: データキャリア通信異常 #0071: ベリファイ異常 #0072: データキャリア不在異常 #0076: 状態フラグ #007A: データキャリアアドレス異常 #007B: 電池寿命ワーニング #007C: ヘッド異常 #007D: プロテクト異常 #FFFE: ビジー中 #FFFF: 入力パラメータの異常

■バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00	2004.6.	新規作成
1.04	2010.8.	エラーコードに「ビジー中(#FFFE)」を追加